

「国内ダンス留学@神戸7期」一般受講募集！！要予約 定員：3～12名程度

※10月までの予定を掲載しています。11月以降の予定は後日発表。

会場：ArtTheater dB KOBE					
内容	講師	日程	時間	料金/日(税込)	note
バレエ	三林かおる	8/9、16、30、9/6、13、20、10/4、11、18	10:00～12:00/月曜	2,000円	8/9会場：ふたば学舎
コンテンポラリーダンス	岡登志子	8/10(火)、20(金)、9/3(金)、7(火)、10(金)、17(金)、21(火)、24(金)、27(月)、10/1(金)、8(金)、12(火)、26(火)、29(金)	10:00～12:00/ 火曜：9:15～11:15	2,000円	火曜別会場
アフリカンダンス	アラン・シナンジャ	7/30(金)、9/1(水)、29(水)、10/7(木)、28(木)	10:00～12:00	2,000円	
ヨガ	渋谷陽菜	7/28(水)、8/18(水)、9/15(水)、10/6(水)	10:00～12:00	2,000円	ヨガマット貸出なし
G A G A ベースクラス	鞍掛綾子	8/19(木)、9/8(水)、22(水)、10/20(水)	10:00～12:00	2,000円	12/22 別会場
ムーブメントプラクティス	西村未奈	8/2(月)、4(水)、5(木)、6(金)	10:00～12:00	2,000円	
※<学割のお知らせ>学生料金は、1000円/回となります。当日、学生証をご提示ください。					

「国内ダンス留学@神戸7期」一般受講募集！！要予約 定員：3～12名程度

会場：ArtTheater dB KOBE						
内容	講師	日程		料金(税込)	内容	note
「振付理論と実践」 一拘りを形にするー	岩淵多喜子	7/27 (火)、28 (水) 29 (木)	13:00～17:15	9,000円	「拘りを形にする」 創作をする上で必要なwhatとhow。 この講座では特に「how」、(どのように)という事に焦点を当て、動きや場面創造の可能性について探っていきます。	
沈みながら飛ぶ方法ー「身体の森の地図」編	西村未奈	8/2 (月)、3 (火)、4 (水)	13:00～17:15	9,000円	相反しうる様々な出来事をも矛盾なく抱え、吸収し、日々、自在に変化している身体。そんな深淵の森である身体の地図の読み方、描き方、よりサプライズな冒険のルートを、具体的な舞踊やプラクティスを通して、見つけていきます！	
日本の伝統芸能の身体的リサーチ	篠田菜	8/5 (木)、6 (金)	13:00～17:15	6,000円	コンテンポラリーパフォーマーの視点から、お能の身体について考察するワークショップ。「位置取ル」「間をとる」「嚙ス」を手がかりに、フィジカルかつ構造的に日本の身体表現の可能性について考えます。	白足袋、手ぬぐい持参
振付とその時代：実践者のための西洋舞踊史概論	児玉北斗	8/19 (木)、20 (金)	13:00～16:00	4,000円	本講座では20世紀の西洋舞踊史を中心に、思想、政治、他の芸術形式などとの関係性を確認しながら、我々の世界とダンスという実践のつながりについて考えます。そのメディアである「身体」を実際に動かすことも、積極的に取り入れたいと思っています。	
未知なるものと出会う場所 ー舞台芸術におけるアーティスト・イン・レジデンスの活用を考える	吉田雄一郎	8/19 (木)	19:00～21:00	1,500円	アーティストが一定期間ある土地に滞在し、日常とは異なる文化環境で作品制作やリサーチ活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」がもたらす可能性や課題とは？アーティストと地域、両方の視点から参加者とともに考えます。	
日本のダンス史から見るコンテンポラリーダンスの現在地	竹田真理	8/30 (月)	13:00～17:15	2,000円	歴史の大きな流れの中でダンスの現在を考える講座です。日本の洋舞史100年を縦に辿りつつ、社会との関係などコンテンポラリーダンスが切り開いてきたさまざまな可能性を、現役の舞踊家たちの仕事とともに検討します。	
想像を作る、そしてそれに振り付けてもらう(受付終了)	岡田利規	8/31 (火)、9/1 (水)	13:00～17:15	6,000円	演劇的観点でダンスを捉える時間としたいです。上演空間でパフォーマーがたたくみ踊る、それによってその空間がフィクションをまとう、ということをつくきりとそこに実現させるには何を心がければよいのか？	
ダンス映画の手法：見えない／見せない	飯名尚人	9/2 (木)、3 (金)	13:00～17:15	6,000円	ダンスと映像の共通点は、連続的な時間を持った動的なイメージであることです。実際のカメラワークも体験しながら、ダンスを構成してみます。レンズを通して見るダンスの可能性を探ります。	
コンポジションクラス：時間と空間を可視化する	余越保子	9/6 (月)、8 (水)、13 (月)、15 (水)、22 (水)、24 (金)	13:00～17:15	15,000円	舞台芸術におけるダンスのコンポジション＝構成、構築、スコア、土台、設計図について実践を通して、考えるワークショップです。100人の作り手がいれば100通りのコンポジションがあります。自分の想像力を、可視化すると、それはどのような成り立ちで立ち上がるのかを、WS参加者が一緒に実際に通過することで、自身のクリエイションプロセスの解析度をあげていきます。	
コンタクト・インプロヴィゼーション	坂本公成+森裕子	9/10 (金)、11 (土)	13:00～17:15	6,000円	コンタクト・インプロヴィゼーションは身体と身体との対話です。ここでは分かり易く丁寧にCIの骨格をなす文法を、相手に負荷をかけないコンタクトからカウンターバランスそしてリフトまで、一からじっくり積み上げていきます。	
ジェンダーとは振り付けである ※オンライン(予定)	あかたちかこ	9/14 (火)、21 (火)	13:00～17:15	4,000円	comingsoon	
気配・身体・音楽	江南泰佐	9/16 (木)	13:00～17:15	3,000円	今回は自分の発する音気配と会場や屋外のサウンドをフラットに並べてそこに身体を置いてみようと思っています。実際それぞれのスマートフォンなどで録音をするかもしれませんが音環境を新たに立ち上げるかもしれません。音から自分を確認するセッションとなれば嬉しいとおもっています。	
「メディアとしての身体」西洋のメソッドからのアプローチ	寺田みさこ	9/17 (金)、23 (木)	13:00～17:15	6,000円	バレエやモダンダンスなど西洋のメソッドを通して、自身の身体を解剖学のように観察するための方法を探ります。意識と外形のずれなどへと気づきを促し、よりクリアでスムーズな身体の運び方を発見していきます。	
オリジナリティの土台を作る	セレノグラフィカ	9/27 (月)、28 (火)、29 (水)	13:00～17:15	9,000円	オリジナリティのある作品を作りたい。その前に、オリジナリティのある動きを作りたい。そのために、まず自分の現在地を知り、それをともに目的地への道のりを探しましょう。具体的な方策の一つを提案します。	
舞踏の身体 イン舞踏・ポスト舞踏をめぐって	今韶子	9/30 (木)、10/1 (金)	13:00～17:15	6,000円	日本発の身体表現である舞踏の身体技法を学びます。また、コロナの時期をへて話題となってきたイン舞踏/ポスト舞踏をめぐり、舞踏と日本のコンテンポラリーダンスに通底する何かにアプローチしていきます。	
奇妙な生物"ダンサー"の生態観察	大澤寅雄	10/26 (火)	13:00～17:15	2,000円	ダンサーという生物は、何を糧にして、何を生み出し、どんな人と、どのように関わり、社会にどんな影響を及ぼし、社会からどんな影響を受けているのか。ダンサーという生物の、持続可能な生態系を妄想しましょう。	
作品制作において線を引く透明なもの区切り方 コンポジション/デコンポジション、具象/抽象、現象/本質	平原慎太郎	12/8 (水)、9 (木)、10 (金)	13:00～17:15	9,000円	comingsoon	

※<学割のお知らせ>学生料金は、500円/日引きとなります。当日、学生証をご提示ください。